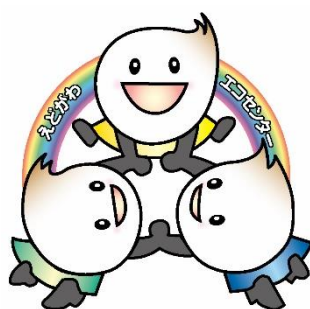




ときめくエコデビュー

平成29年度(2017年度)
おきがる環境講座
報告書



平成30年2月28日

特定営利活動法人えどがわエコセンター

実施団体 イノシシ倶楽部

平成29年度（2017年度） おきがる環境講座 報告書

目次

- 1.はじめに
 - 2.おきがる環境講座概要
 - 3.活動報告
-

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

知って・学んで・実践！ 広がる！ 環境学習の輪

「おきがる環境講座」運営責任者
特定非営利活動法人えどがわエコセンター
イノシシ倶楽部会長 大和地 弘一

平成16年にスタートした“環境学習リーダー養成講座”は、平成20年度から“おきがる環境講座”と改め基礎から段階的に学べる講座として最終的にリーダー養成につながる講座として開催してきた。

今年度は、12講座（オープニング講演会、基礎6講座、ステップアップ4講座、リーダー・仲間づくり講座）を開催、一般、親子を中心に、昨年度246名を上回る255名の参加者数であったが、計画300名を下回る255名の結果となった。実施予定だった「首都圏・災害対策の目玉」（予定参加31名）が台風で中止となった影響が大きかった。

その中で、リーダー・仲間づくり講座は、ここ2年間応募者が少なく講座中止となった。従来の対象者を一般区民にプラスして他の団体（江戸川総合人生大学、コープみらい等）に呼びかけを行った。総合人生大学には、共通基礎科目、「地球環境を考える身近な活動」を受講している学生を中心に働きかけ、2年目の社会活動体験の習得単位に「仲間づくり講座」を受講すれば取得できることを積極的に呼び掛けたが3年続けて開催できない残念な結果となった。

残念な結果であったが、今までに154名の修了生がエコセンターや地域で活動し、特に、イノシシ倶楽部に入会した会員は、小中学校の出前授業、すすくすくスクール放課後環境教育やおきがる環境講座の企画運営・講師など中心的な役割を果たし初期の目的を達成できている。

一方、設立から14年目を迎えエコセンターを取り巻く環境は、区は新たな目標として“2030年度までに温室効果ガス排出量の40%削減”（エコタウン推進計画より抜粋）、エコセンターも新たな中期計画で“温室効果ガスの少ない低炭素社会づくり”を目指すことを踏まえ、現リーダー養成を改め、新たに、省エネ・3R・自然保護等を実践指導できるアドバイザーの育成が望まれる。

平成16年から長期にわたり、講座開催に際しご協力頂いた江戸川区・環境部、パートナーシップ事業者等、イノシシ倶楽部やエコセンター事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

（Ⅰ）新規プログラムの導入

- ・オープニング講演会では、従来とは趣向を変えて環境漫才を、環境カウンセラーの林家ライス・カレー子を招き実施し好評だった。
- ・食品ロスをテーマに“コープみらい”から講師を招き、主婦の目線からどうしたら食品ロスを減らせるのかを考えてもらった。
- ・ゴミ問題で第4のR（リフューズ）について「ゴミを減らす方法を買う時から考えよう」と題し好評であった。

（Ⅱ）企業や他団体等との連携企業との連携

景気に左右されCSR活動は低調気味ではあったものの、花王（株）、東京ガス（株）との連携ができた。また他団体の連携では、日本ソーラーシェアリング協会、コープみらい、グリーン購入ネットワーク、根っこネットとの連携ができた。

平成29年度（2017年度）おきがる環境講座 概要

おきがる環境講座は、オープニング講演会、基礎からステップアップして仲間づくり講座へと無理なく段階的に学べ、好きな講座を選択できることを特徴としています。



オープニング講演会 環境漫才

笑いの宅急便、林家ライス・カレー子さんの環境漫才を通じて、これからの日常生活において地球温暖化防止への実践を考える

「お笑いで地球を救う!？」～思いは地球規模で、行動は足元から～

■講師：林家ライス・カレー子（環境省 環境カウンセラー）



基礎編 環境について学びたい方へ（6講座）

これから環境について学びたい方へ。

エコセンターや区が取組んでいる活動や事業、講演会、体験教室やバス見学会などに参加しましょう。

- 第1回 地球環境と海との関係を考えよう ～深海探査船「しんかい6500」実物大模型や深海生物標本を見学～
- 第2回 首都圏・災害対策の目玉 ～東京を水害から守るため環状七号線の地下に造られた貯水池を見学～
- 第3回 異常気象と2020の年日本の天気 ～どうなる!?東京オリンピック～
- 第4回 花王すみだ事業場見学会 ～花王の環境に配慮した物づくりと清浄文化を学びます～
- 第5回 親子で太陽光発電の下でサツマイモ堀 ～太陽光発電と農業のコラボレーションを体験します～
- 第6回 環境問題の今 ～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～



ステップアップ講座 行動したい方への第一歩（4講座）

環境問題に興味を持っていてこれから行動したい方へ。 イベントに参加したり、見たり、聞いたり、体験しながら積極的な関わりへと「ステップアップ」します。

- 第1回 東京ガス千住テクノステーション見学会 ～再生可能エネルギーの種類と水素社会の実現について学びます～
- 第2回 食品ロスについて考える ～「食べ物のもったいない」を一緒に考えよう～
- 第3回 ゴミを減らす方法を買う時から考えよう ～ごみを持ちこまない生活、もう一つのRを考えてみよう～
- 第4回 段ボールクッキング・オープンづくり ～使用済みダンボールでオープンを手作りします～



仲間づくり講座 レッツ・エコデビュー（連続4回講座）

環境活動への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間づくりの幅を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。

- 第1回 地球環境と異常気象・エコセンター紹介・コミュニケーションのいろはを学びます
- 第2回 エコについてグループで話し合い、みんなで発表します
- 第3回 活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会
- 第4回 エコ活動イベントへ参加し体験します



① オープニング講演会：環境漫才「お笑いで地球を救う！？」

～思いは地球規模で、活動は足元から～

講 師	林家ライス・カレー子（環境省 環境カウンセラー）
概 要	元祖！環境漫才の 2 人が、地球規模の大きな問題を身近なデータや現場の話をたっぷり折り込み、漫才形式で笑いの中で環境問題を気づき学んでいただきます。
会 場	タワーホール船堀・蓬莱(2F)
対象者	一般
日 時	平成29年7月15日（土）14：00～15：00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

お笑いを通して楽しく大事なことを考えることができ、大変良かったとの意見が多くあった。間口の広い環境問題をグーンと笑いで手元に引き寄せて、聞く人に足元の小さな行動が大切であることを気付かせることができたオープニング講演会であった。





② 基礎講座（第1回） 地球環境と海との関係を考えてみよう ～深海探査船「しんかい6500」実物大模型や深海生物標本を見学～

バス見学会

講 師	横須賀海洋科学技術館
概 要	海洋が影響を及ぼす地球規模の諸現象の解明に向け、様々な観測・予測研究、技術開発等を行い、我が国周辺海域に眠る海底資源に関する研究開発等を通して、海洋立国日本を科学技術で支えている本施設を訪ねて、「しんかい6500」の実物大模型を中心に、貴重な深海生物標本などを見学し、海の地球環境に及ぼす影響を学びます。
会 場	海洋研究開発機構（神奈川県横須賀市）
対象者	親子
日 時	平成29年7月31日（月）8:00～17:00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

子どもたちは、海洋生物標本の姿や水圧実験をみて深海のふしぎに興味を示し、有人潜水調査船“しんかい6500”の実物大模型に乗船し楽しんでた。保護者からは、NHKでも放映されて興味ある場所を見学でき、地球環境と海のことを深く考える機会となったとの感想があった。お昼は持参のお弁当を“海の公園”の芝生や公園内のレストランでとり、帰路に赤レンガ倉庫でクールダウンと買い物を楽しんでもらった。バスの車中での環境クイズが意外と親子に評判が良かった。





③ 基礎講座（第2回） 首都圏・災害対策の目玉！

バス見学会

～東京を水害から守るため環状七号線地下に造られた地下貯水池を見学～

講 師	東京都建設局第三建設事務所職員
概 要	台風やゲリラ豪雨から地域を守る！東京を水害から守るために神田川・環状七号線の地下40m、全長4.5キロにわたる地下調節池を見学します。また都会のオアシス！井の頭自然文化園の動物園や水生物園で小動物にふれあい、魚、両生類、昆虫、植物を見ることができます。
会 場	神田川・環状七号線地下調節池（杉並区）
対象者	親子
日 時	平成29年8月8日（火）9：00～17：00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

台風5号が関東地方に直撃した為、残念ながら中止となった





④ 基礎講座（第3回）異常気象と2020年の日本の天気 ～どうなる！？東京オリンピック～

講師	村山 貢司（気象予報士・（財）気象業務支援センター・専任主任技師）
概要	地球温暖化がもたらしている異常気象により益々激しくなる日本の天気、各所でゲリラ豪雨、集中豪雨による洪水や土砂災害、竜巻が発生し甚大な災害が起きています。これらの異常気象が、東京オリンピックの最大のハードルになりうるとのカリスマ気象予報士からの緊急レポートを聞き、積極的に地球温暖化防止活動を進めるきっかけとします。
会場	タワーホール船堀・307会議室
対象	一般
日時	平成29年9月11日（月）18:30～20:00
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

温暖化による海水温の上昇が激しくなり、日本近海での大型台風の発生が頻発している実態が気象データをベースに解説された。受講生にとってヒートアイランドによる異常高温、ゲリラ豪雨、大型台風の迷走、など肌身に感じるようになっており熱心に聞き入っていた。2020年には、さらに温暖化が進み、真夏の東京オリンピック開催の大きなリスク要因となることが予測され、対策が必要となるだろう。地球温暖化がもたらす災害は他人事ではなく、自らに降りかかる火の粉として考えてもらいたい。





⑤ 基礎講座（第4回）花王すみだ事業場見学会

現地集合

～花王の環境に配慮したものづくりと清浄文化を学びます～

講 師	花王（株）すみだ事業場職員
概 要	豊かな生活文化を実現するために、より“環境負荷の少ない製品”を、より“環境負荷の少ない方法”でつくりだす取組や清浄文化の歴史について学びます
会 場	花王（株）すみだ事業場
対象者	一般
日 時	平成29年9月22日（金）9:30～12:00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

昨年は、雨の中足元も悪い中での見学会であったが、今回は、天気にも恵まれ見学先まで徒歩で行くことができた。女性層が多い見学会で、参加者の中には若い女性が参加されていた。毎年満足度は高く、生活に密着した見学先であることが要因と思われる。清浄文化、花王の歴史、コミュニケーションプラザの3つの展示ゾーンでは、各時代の清浄生活の歴史、花王のモノづくりの歴史、肌や髪の状態を測定できる新製品の特長を知ることができた。化粧品工場では、完全自動化された製造工程や環境を考慮した製品作りに感心したが、環境負荷への取組みの話が少なかったのがすこし残念だった。私たちの日常生活の中で使用している製品の製造と歴史を見学でき大変有意義だった。



⑥ 基礎講座（第5回）親子で太陽光発電の下でサツマイモ掘り ～太陽光発電と農業のコラボレーションを体験します～

バス見学会

講 師	高澤 真（ソーラーシェアリング 上総鶴舞 代表）
概 要	太陽光発電を見学し、その下で育ったイモ堀をすることで農業とのコラボレーション（耕作放棄地を太陽光発電と農業でシェアする）を体験します。そしてソーラーシェアリングの仕組みやメリット、太陽光発電以外の再生可能エネルギーについて学びます。
会 場	ソーラーシェアリング上総鶴舞（千葉県市原市）
対象者	親子
日 時	平成29年10月21日（土）8：00～17：00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

5月中旬にスタッフで芋の苗付けをしてから5ヶ月間、高澤講師のご両親に芋の成長の手助けをお願いしました。昨年はイノシシの被害にあったことを経験に、農地のまわりに防御網を張ったおかげで、ソーラー発電と農業のコラボにより昨年よりさらに沢山の見事に育ったサツマイモを収穫し、雨の降る中の芋堀だったが皆大喜びだった。この体験で芋掘りだけでなく、耕作放棄地の有効活用を親子で話し合えたら良いなと期待する。昼食後は村の公民館でソーラーシェアリングの仕組みやメリット、いろいろな再生エネルギーについて、DVDを見ながら学ぶことができ、子供も大人も知らなかった新しい試みに感心する意見が多々あった。





⑦基礎講座（第6回） 環境問題の今

～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～

講 師	北野 大（江戸川総合人生大学学長）
概 要	毎年、江戸川総合人生大学とのパートナーシップ事業は10年目を迎え、今年度も北野学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を聴講生として受講する。 「地球環境の今」をテーマに、過去から現在に至る地球環境問題を知り、地球環境問題の現状に気づくと共に今後の地球環境を考えます。
会 場	篠崎文化プラザ・講義室
対象者	一般
日 時	平成29年11月16日（木）14:00～16:00
主 催	江戸川総合人生大学
後 援	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

IPCC 第5次アセスメント報告書の話の中で、気候変動への適応策として気候温暖化の問題に対処する方策として一つは、温暖化による悪影響をあらかじめ備えておこうという適応策、もう一つは、温室効果ガスの排出を抑制する緩和策で、適応策と緩和策のバランスが重要との話があった。講義内容もユーモラスに富み、受講者は、熱心に聞き入っていた。





⑧ステップアップ講座（第1回） 東京ガス千住テクノステーション 見学会

現地集合

～再生可能エネルギーの種類と水素社会の実現について学びます～

講 師	東京ガス
概 要	高機能・高効率のガス利用技術の開発や水素ステーションについて学び、“暮”しを“楽”しく“創”ってゆく次世代住宅のいろいろな取組みと、それを支える技術を学びます
会 場	東京ガス千住テクノステーション
対象者	一般
日 時	平成29年8月22日（火）10：00～12：00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

太陽熱やコージェネレーションシステムの廃熱を優先活用する熱源統合制御、地域熱導管を敷設して、隣接する特別養護老人ホームに熱を融通する活用に高機能・高効率のガス利用技術の将来への可能性を感じた。千住テクノステーションの暮・楽・創ハウスや水素ガス自動車では、省エネのための色々な発想に基づく技術が取り込まれ、快適な暮らしを夢見ることができた。





⑨ステップアップ講座（第2回） 食品ロスについて考える

～「食べ物のもったいない」を一緒に考えよう～

講 師	宮川 和之（コープみらい コミュニケーション・CSR推進室）
概 要	食品ロスは、なぜ？どこでどのように発生しているのでしょうか？ そして私たちにできることは？ いっしょに考えます。学んだその日から、お買い物が少し変わるかもしれません。食べ物のムダをなくしましょう。
会 場	タワーホール船堀・307会議室
対象者	一般
日 時	平成29年9月19日（火）10：00～11：30
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

生活協同組合コープみらいから宮川講師（コミュニケーション・CSR推進室）を迎え、「食べられる物のもったいない」を一緒に考えてみた。講義では、食べられることなく廃棄されている量やなぜ？どこでどのように発生しているのか、コープみらいの「食品ロス」への取り組みを理解してもらった後に、グループに分かれ話し合いを実施した。

参加者からは、食品ロスを減らすというのは自分達で身近なことだと、とても痛感させられたとの感想や、特に、消費者の食品ロス量は全体の半分！！食べられないと思っていた野菜の部分など、ムダがないように工夫して減らしていきたい等の感想があった。





⑩ステップアップ講座（第3回）ゴミを減らす方法を買う時から考えよう

～ごみを持ちこまない生活、もう一つのRを考えてみよう～

講 師	高岡 由紀子（グリーン購入ネットワーク）工学博士
概 要	リサイクル中心のごみ減量から さらに“ごみをできるだけださないという”取り組みが大切です。本講座では、お買い物選びの模擬体験を通じ、商品を選んだ理由等を話し合いながら、環境に配慮した買い物の仕方について考えてみます。 毎日の品物選びが環境につながっていることに気づいてもらいます。
会 場	タワーホール船堀・307会議室
対象者	一般
日 時	平成29年10月7日（土）14：00～15：30
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

グリーン購入ネットワークから高岡講師を迎え、リサイクル中心のごみ減量から“ごみをできるだけださない”ことについて一緒に考えてみた。ワークショップでは、「紅茶」の現品を見ながら、ごみが少ない品物・環境影響が小さい品物どれかを、①ごみが少ないと思う品物、②環境影響が小さいと思う品物、③便利だと思ふ品物をグループに分かれ話し合い、ごみや環境負荷減らすために「暮らしの知恵」を話し合い、各グループで出されたことを発表し全体で共有した。参加者から、今まで受講したことがない講座で、今後は、できるだけ環境に配慮した買い物を心がけていきたい等の感想があった。





⑪ステップアップ講座（第4回）段ボールクッキング・オープンづくり

～使用済みのダンボールでオープンを手作りします～

講 師	内山 浩和（根っこネット代表）
概 要	いらなくなった段ボールで組み立て式のオープンを作ります。それを野外や災害時に調理器具として使うことを学びます。料理には有機野菜を材料にしています。美味しく野菜を食べて感動を味わって下さい。
会 場	グリーンパレス料理講習室
対象者	一般
日 時	平成29年10月28日（土）10：00～12：30
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

予想に反して応募者が少なく僅か4名の参加だったが思いきって実施をした。参加者からは、「不要となった段ボールでも工夫すれば活用できるものが作れるのだと感じました」、「アルミを張ることで段ボールがコンロ役をするとは思っていませんでした」、「アイデア一つでいろんな使い道があることを学びました」等 驚きの感想があり、災害時の備えへの認識を持てることができた。今回は野外でなかったため、作ったオープンで料理をする体験ができなかったのが残念だった。





⑫仲間づくり講座 レッツ・エコデビュー（第1～4回）

講師	大和地弘一（環境カウンセラー）、水上泰輔（環境カウンセラー）
概要	環境問題への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。 第1日目：地球温暖化と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのイロハ 第2日目：エコについてグループで話し合おう&発表 第3日目：活動している人たちとの話し合い&修了式・先輩との交流会 第4回目：エコ活動イベントへの参加・体験（MOS）
会場	タワーホール船堀・307会議室、産業振興センター、MOS
対象者	一般
日時	第1回：中止 第2回：中止 第3回：中止 第4回：中止
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

ー昨年、昨年に続き今年度も申込み者は1名となったため、残念だが中止となった。

おきがる環境講座は受託事業として、特に“仲間づくり講座は”エコセンターで活動する人材育成として位置付けられており、今年度は下記①、②などの対応を行ったが効果を得ることができなかった。

① 募集方法

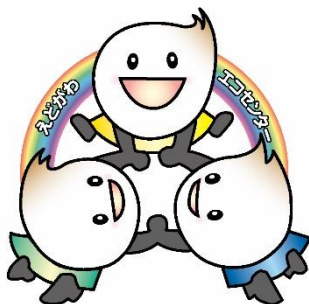
対象者を一般区民にプラスして他の団体（江戸川総合人生大学、コープみらい等）に呼びかけを行った。総合人生大学には、共通基礎科目、「地球環境を考える身近な活動」を受講している学生を中心に働きかけ、2年目の社会活動体験の習得単位に「仲間づくり講座」を受講すれば取得に貢献できること積極的に呼び掛けた。

② 講座名

「リーダー仲間づくり講座」は、ネーミングが参加しづらい印象がある等の意見があり、リーダーを外し「仲間づくり講座」と親しみやすいネーミングとした。

H29年度「おさがる環境講座」受講者数

NO.	区分	講座名		受講者数
1	オープニング講演会	「お笑いで地球を救う!？」 ～思いは地球規模で、行動は足元から～		76
2	基礎講座	第1回	地球環境と海の関係を考えよう	28
3		第2回	首都圏・災害対策の目玉!	—
4		第3回	異常気象と2020年の日本の天気	23
5		第4回	花王すみだ事業場見学会	25
6		第5回	親子で太陽光発電の下でサツマイモ掘	33
7		第6回	環境問題の今	9
8	ステップアップ講座	第1回	東京ガス千住テクノステーション見学会	18
9		第2回	食品ロスについて考える	24
10		第3回	ゴミを減らす方法を買う時から考えよう	15
11		第4回	段ボールクッキング・オープンづくり	4
12	仲間づくり講座	第1回	地球環境と異常気象・エコセンター紹介・コミュニケーションのイロハ	—
		第2回	エコについてグループで話し合おう&発表	
		第3回	活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会	
		第4回	エコ活動イベントへの参加・体験 (区内イベント会場)	—
計				255



発行：特定非営利活動法人えどがわエコセンター

編集&運営団体：イノシシ倶楽部

〒134-0091 江戸川区 船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階

TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677

Eメール：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

ホームページ：http://edogawa-ecocenter.jp/
